

事務事業名 県単ため池安全確保事業		所属部 農林振興部	所属課 農林土木課	
総合計画体系的	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 農林道G	課長名 渡部克彦	
	施策名 (36)農業の振興	担当者名 山根 知穂	電話番号 0854-40-1053 (内線) 2403	
	目的:対象 市内の農家 意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業 0 5 5 5 1 5	土地改良事業	
	基本事業名 (108)農業基盤の保全 目的:対象 担い手農家・担い手以外農家 意図 農業の生産性を維持・向上できるようにする。		県単ため池安全確保事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) 国庫補助事業要件に当たらないが老朽化合いが高い危険なため池について、県単補助事業制度を活用し、ため池の改修を行う。 (改修内容:ため池の堤体、洪水吐、取水施設等、老朽箇所の応急整備や堤防の切り下げ、ため池の廃止等)  採択要件は 国庫補助事業の要件を満たさない整備事業費は1,000千円以上8,000千円以下貯水量が300m3以上のため池想定被害が、家屋、国・県・市道、河川、公共施設等におよぶもの  補助率は 県 67% 市町村 32% 農家負担 1%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動 28年度実績(28年度に行った主な活動) 現地確認 実施測量 工事施行  三刀屋町六重地内 1箇所 鉄見谷地区	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 現地確認 実施測量 工事施行  三刀屋町高窪地内 蛇の原地区 大東町西阿用地内 吉田地区 木次町平田地内 金廻1号地区 加茂町大西地内 与一谷地区				
	② 活動指標	単位 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(計画)				
ア	事業費	千円	0	8,009	7,258	24,400
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか) 雲南市内の老朽化したため池	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
		ア	調査ため池	箇所	0	2	1	4
		イ	改修ため池	箇所	0	2	1	4
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか) 老朽ため池の改修	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
	ア	改修済みため池	箇所	0	2	1	4	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算) ため池改修1箇所 工事費 6,243千円 委託料 1,015千円 計 7,258千円	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	5,293	4,824	16,080
	県支出金	千円	0	2,600	2,300	7,800	
	地方債	千円	0	79	72	240	
	その他	千円	0	37	62	280	
	一般財源	千円	0	37	62	280	
	事業費計(A)	千円		8,009	7,258	24,400	
人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1		
	延べ業務時間	時間	0	50	50		
	人件費計(B)	千円		196	198		
トータルコスト(A)+(B)	千円		8,205	7,456			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?) 県内5004カ所の農業用ため池のうち、250箇所の整備済みを除き、老朽化が進んでいる。そのハード対策として25年度に新規創設された補助金事業である。	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし。	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?) ため池の老朽化を懸念されている声がある。アンケート結果によると管理もされていないため池も多いため、事業要望の声がある。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業名	県単ため池安全確保事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	県制度の基準に基づく計画及び改修をしており向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	受益者やため池所有者が全てを負担しての改修になり負担が重くなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		国庫補助事業の対象とならない危険ため池の改修事業はこれのみである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		地元調整や現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		現地を確認したうえでの緊急性を考慮している。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		適正な予算執行に努めた。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
今後も同様に適正な執行に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		